

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部名	学科名	区分	授業科目名	単位数	どのような実務経験を持つ教員がどのように教育を行うか
医学部	医学科	専門科目	臨床コア実習(M5)	8	大学病院にて医師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義・実習を行う。
			臨床エキスパート実習(M5)	20	大学病院にて医師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義・実習を行う。
		合計単位数			28
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	一般教養科目群	データサイエンスのための数学	2	一般企業勤務経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う
			統計学	2	一般企業勤務経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う
		専門基礎科目群	スポーツと栄養	2	一般企業勤務経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う
			陸上運動	1	オリンピック・世界選手権出場、実業団活動経験のある教員、日本代表監督およびコーチ経験のある教員がその経験に基づき講義を行う
			器械運動	1	実業団活動経験、オリンピック出場経験またはオリンピック金メダルを含む国際大会で複数の入賞経験を持つ教員、日本体操協会強化部員またはコーチ育成委員会委員として実務経験を持つ教員がその経験に基づき講義を行う
			球技(ゴール型)(サッカー)	1	サッカー日本代表及びJリーグでの競技経験があり、S級コーチライセンスの指導資格を保有する教員がその経験に基づき講義を行う
		専門展開科目群	学校保健学	2	医療現場において看護師、保健師、教育現場において養護教諭として経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行う
			医学概論	2	医師である教員がその臨床経験に基づき講義を行う
		専門科目群	スポーツ外傷・障害の評価と救急処置実習	2	スポーツドクター、JSPO-AT、救急救命士としてしてスポーツ現場等で救急処置経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う
			知的障害者指導法	2	特別支援学校教諭として学校及び教育機関での指導経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う

			労働基準法	2	労働基準監督官・特定社会保険労務士・労働衛生コンサルタントとしての40年間の業務経験を有する教員がその経験に基づき講義を行う
			合計単位数	19	
医療看護学部	看護学科	専門科目	症状別臨床病態学	1	病院での医師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			臨床医学Ⅱ	3	病院での医師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			基礎看護学実習Ⅰ	1	病院での看護師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき実習指導を行う。
			成人看護学概論	1	病院での看護師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			高齢者看護学概論	1	病院での看護師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			精神看護学概論	1	病院での看護師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			助産学概論	1	病院等での看護師・助産師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	病院等での看護師・保健師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき実習指導を行う。
			看護研究の原理と方法	1	病院での看護師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			合計単位数	13	
保健看護学部	看護学科	専門科目	臨床医学Ⅰ(循環器・消化器・呼吸器)	2	一般病院において医師としての実務経験を有する教員がその臨床経験に基づき講義を行う。
			看護学概論	1	この科目の科目責任者および科目担当者は病院での看護師としての勤務経験を有しています。その経験を活かし、看護に関する内容をわかりやすく解説します。

			看護援助論	1	本科目の科目責任者および科目担当者は、病院において看護師としての経験を有しています。臨床での経験を活かし、援助的人間関係、患者-看護師関係、患者および多職種とのコミュニケーションについて具体的な講義・演習を展開します。
			生活援助技術	2	この科目を担当する教員は全員が病院での臨床経験を有し、これまでも大学において看護技術を教えた経験を持っています。その経験を活かして日常生活援助技術をわかりやすく手本を見せながら学生が学ぶことをサポートします。
			地域包括ケア探索実習	3	本科目の科目責任者・科目担当者は医療機関、介護施設、地域・在宅、行政で看護師、保健師、助産師としての勤務経験を有している。その経験を活かし、地域包括ケアにおいて活動する看護職者に求められる知識や技術をわかりやすく解説する。
			多職種連携医療体験実習	1	この科目の担当者は全員病院での看護師としての勤務経験を有しています。その経験を活かし、実習での体験を意味づけて学生が看護への動機付けが深まるよう支援していきます。
			成人看護学基礎	1	科目責任者は、臨床では集中治療室での勤務を有します。また、成人看護学領域の看護大学教員として、成人看護学の基礎・概論の教授経験があります。臨地実習における施設との連携、対象者へのケアからの学びと現在の社会情勢を合わせ、成人を対象にした看護の関心が高められるように講義・討議します。
			公衆衛生看護学基礎	2	この科目の科目責任者は保健師として保健医療福祉機関での勤務経験を有しています。その経験を活かし、現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。
			合計単位数	13	
国際教養学部	国際教養学科	専門科目	日本文化A	2	文化財・教育・民俗学関係の書籍の編集を扱う民間企業での実務経験を有する。その実務経験を通じて得た知識や視点を活かし、日本文化に関する理解を深める授業を行う。
			国際情勢	2	大学・大学院で地質学・考古学を専攻後、新聞社で科学記者・海外特派員として国際情勢を取材。地球科学と国際報道の実務経験を基に、地球規模の課題と国際社会の関係を多角的に考察する講義を行う。
			経営学概論	2	年間100件以上の学生キャリア面談(約20年)、人事労務管理・労使協定締結など(約10年)を経て起業。大学・行政での人事関連研修(約5年)。公的機関・民間での活動の実態に基づき、経営戦略、人材マネジメント、組織運営の基礎的な概念や実践的な視点について講義する。
			財務管理	2	公認会計士として法定監査業務に従事し、海外上場企業を含む国内大手製造業のグループ監査を担当。実際の決算数値や内部統制の検証を通じて、企業の実態を財務面から把握する業務に携わる。実務経験を踏まえ、企業意思決定がどのように財務数値と結びついているかを具体例とともに解説する。財務諸表の読み方に加え、企業価値評価の基本的な考え方について、実務でどのように使われているかを意識した講義を行う。
			心理学概論	2	臨床心理士として都内スクールカウンセラーの実務経験を有する教員が、その経験を基に実践的な授業を行う。
			カウンセリング論	1	民間企業において、営業、人事、社内カウンセラーとして約16年間従事。企業内での対人支援やカウンセリングの実践経験を基に、カウンセリングの基本的な理論と実践的なコミュニケーション技法について講義する。
			グローバル人材論	2	年間100件以上の学生キャリア面談(約20年)、人事労務管理・労使協定締結など(約10年)を経て起業。大学・行政での人事関連研修(約5年)。公的機関・民間での活動の実態に基づき、経営戦略、人材マネジメント、組織運営の基礎的な概念や実践的な視点について講義する。

			疫学・統計	2	JICA専門家(保健分野)や特別職国家公務員(国会における政策立案・立法活動の補佐)として、5年以上の実務経験を有する。 保健分野における国際協力や政策立案の現場経験を基に、疫学および統計の基本的な理論とその政策応用について講義する。
			合計単位数	15	
保健医療学部	理学療法放射線学学科	共通科目	人間関係論(コミュニケーション論)	2	理学療法士として勤務する中で目にした、臨床現場における医療者へのクレーム問題に興味を持ち、養成教育現場で「コミュニケーション教育」の取り組みを独自に開始。授業を通して学生の悩みを聴き、臨床での経験をもとにまとめた書籍「PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド」を出版。授業では、現在も臨床現場で働く医療者として、患者や家族との臨場感のあるエピソードなどを交えながら、人間関係とコミュニケーションについての理解が深まるようにわかりやすく解説する。
			心理と行動	2	カウンセリング機関や教育機関での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。
	理学療法学科	専門科目	カウンセリング論	1	民間企業および大学でのキャリア・カウンセリングやメンタルヘルスに関するカウンセリングの実務経験を活かして講義を行う。
			日常生活活動学	2	順天堂医院等での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。
			運動学	2	病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて実習を行う。
			外科学	1	病院での臨床経験を活かし、外科学の変遷と実際の外科治療について講義を行う。
			小児科学	1	病院での臨床経験、医学部学生、体育学部健康学科学生および看護学生講義の経験を活かし、実際の症例に関する内容、学生が知りたいと思う内容を交えての講義を行う。
			神経系理学療法学	2	急性期あるいは回復期病院での神経疾患(脳血管疾患、変性疾患、脊髄疾患)の実務経験に基づき、理学療法評価および治療について実際の症例に関する内容を交えてわかりやすく解説する。
			合計単位数	13	
	診療放射線学科	専門科目	疾病の成り立ちⅠ(感覚器系・脳神経・脳血管系)	2	病院での臨床経験を基に、実例を交えながら講義を行う。
			疾病の成り立ちⅡ(消化器系・腎泌尿器系)	2	病院での臨床経験を活かし、疾患に関する内容を交えて講義を行う。
			診療画像機器学Ⅰ(X線発生装置関係)	2	大学病院における診療放射線技師としての実務経験に基づき、撮影実技に必要な基礎知識・応用技術についてわかりやすく解説する。

			放射線診断学	2	1年次前期の「キャリアデザインゼミナール」、2年次前期の「放射線診断学」、2年次後期の「X線撮影技術学Ⅲ(血管造影・MRI)」を担当している。医師として病院での臨床経験を活かし、講義を行う。	
			放射線治療物理学	1	放射線治療における物理的な側面の解説に加え、米国、日本国内での放射線治療の臨床業務の経験を踏まえ、がん治療における放射線治療の役割について広い視点で講義を行う。	
			合計単位数	13		
医療科学部	臨床検査学科	共通科目	医学概論	1	医師としての、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
			病態学Ⅰ	2	医師としての、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
			病態学Ⅱ	2	医師としての、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
			病態学Ⅲ	2	医師としての、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
			生理学	2	臨床検査技師及び医師が大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
	臨床検査学科	専門科目	生理学Ⅰ	1	臨床検査技師として病院等での勤務経験を生かし講義を行う。	
			生理学Ⅱ	1	臨床検査技師として病院等での勤務経験を生かし講義を行う。	
			臨床検査学入門	1	医師としての、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。	
			微生物学	2	臨床検査の実務と教育の経験を有する教員が、医学上重要な微生物の基礎知識と臨床検査としての微生物検査の基礎を解説する。	
			臨床検査機器総論	1	臨床検査技師として病院等での勤務経験を生かし講義を行う。	
				合計単位数	15	

臨床工学科	専門科目	医用電子工学Ⅱ	2	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、実践的知見を教授する。
		病態生理学	1	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を持つ教員が、疾患と治療に使用される医療機器との関連における基本的知識を講義する。
		基礎医学実習	1	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、基礎的な医学技術について実践的知見を教授する。
		呼吸機能代行技術学実習	1	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、実践的知見を教授する。
		基礎情報工学	1	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、臨床工学の実践に必要な情報工学の基礎知識を教授する。
		計測工学	2	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、実践的知見を教授する。
		医用機器学概論(臨床支援技術論含)	2	臨床工学技士として大学病院での臨床経験を踏まえ、実践的知見を教授する。
		合計単位数	19	
健康データサイエンス学部	専門科目	情報セキュリティⅠ	2	企業での社会経験を活かし、社会で流用な講義を実学的に行う
		情報倫理	2	企業での社会経験を活かし、社会で流用な講義を実学的に行う
		医療情報学	2	医師として、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。
		医療経営概論	2	医療機関での経営管理職としての勤務経験を活かし、講義を行う。
		スポーツと心理	2	メンタルパフォーマンスコーチの経験を活かし、講義を行う。
		人体の機能と構造	1	医師として、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。

			医療概論	1	医師として、大学病院等勤務経験を活かし、講義を行う。
			情報可視化概論	2	企業での社会経験を活かし、社会で流用な講義を実学的に行う
			合計単位数	14	
薬学部	薬学科	専攻科目	薬学人としての教養入門(薬学への招待)	2	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、薬学における基礎知識等を教授する。
			臨床研究(治験)総論	2	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、薬剤師の任務や学における研究の計画や実践、問題解決の手法を教授する。
			医療における薬学	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、薬剤師の任務や使命・責任・倫理観等を教授する。
			医療ボランティア実践	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、医療におけるボランティア活動の目的・意義及びボランティアにおける薬剤師の役割等を教授する。
			医療コミュニケーション	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、薬学におけるコミュニケーション、行動科学の知識、技能、態度の基礎知識等を教授する。
			薬物治療学Ⅴ(がんと化学・放射線療法)	2	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、悪性腫瘍の定義や病態、薬物治療に関する基本的知識等を教授する。
			薬物治療学Ⅵ(感染制御学・抗菌化学療法)	2	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識、治療に必要な情報収集・解析に関する基本的事項等を教授する。
			セルフメディケーション実践	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、セルフメディケーションの支援に関する基本的知識、薬物治療実施に必要な情報収集の基本的技能等を教授する。
			医薬品安全性学	2	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、医療安全における薬剤師の役割、知識、技能、態度等を教授する。
			地域医療薬学	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、保険調剤、在宅医療をはじめとする各種ケアの基本的知識を教授する。千葉県薬剤師会とも連携し、より実践的な講義カリキュラムを提供する。
			高齢者薬物治療学(老年医学)	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、高齢者の薬物治療に必要とされる実践的な知識と技能等を教授する。

	救急・集中治療・周術期薬物治療	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、救急・集中治療・周術期薬物治療の薬物治療に必要とされる実践的な知識と技能等を教授する。
	周産期・小児薬物治療	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、周産期・小児領域領域の専門・認定薬剤師に求められている知識や社会的ニーズ、技能等を教授する。
	精神神経系薬物治療	1	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、精神神経系領域の薬物治療に必要とされる実践的な知識と技能等を教授する。
	病院・薬局実習事前学習	8	大学病院での薬剤師としての実務経験を有する教員が、調剤方法や調剤時の留意点等の実践的知見、調剤事故とその対応等を教授する。
	合計単位数	27	